

秘密にしたい、
景色を探して。

若狭 みはま

TAKE
FREE

Issue.

02

2026

feature
area

くぐし
久々子





秘密にしたい、景色を探して。

秘密にしたい、景色を探して。

WAKASA MIHAMA
STORY BOOK Issue.02

- KUGUSHI story #01
04 湖をめぐる、水辺のサイクリング
- KUGUSHI story #02
08 湖上観察記。久々子湖で鳥を探す
- 10 徹底解剖 レガッタ
- 14 通な店 美食美浜
- 17 美浜の祭

美浜町

福井県の西側に位置し、日本海若狭湾に面した福井県美浜町。8500人ほどが住むこのまちは、豊かな恵みをもたらす海や山、そして五色にかがやく湖とともに生きています。ラムサール条約湿地に登録された五色の神秘的な「三方五湖」や、真っ白い砂浜が続く「水晶浜」。さらに、海の幸や山の幸、全国各地にファンを持つ銘酒など、美浜ならではの魅力が詰まった風土は、多くの人を惹きつけています。

久々子湖エリア

三方五湖の一つ、久々子湖は海に面し、水月湖とつながるびょうたん型の潟湖。ローイング競技の聖地として知られており、北端の嶽山からは日本海と三方五湖を眺めることができます。湖の周囲を取り囲むように続く山々の景色、群れを成して泳ぐ水鳥の様子は、四季それぞれに趣があります。

美浜の隠れた物語を探して。

『秘密にしたい、景色を探して』は、美浜町の日々の暮らしや文化、歴史、風景を訪ね歩き、

観光ガイドブックには載っていない

町の営みを探す旅の記録です。

今回訪れたのは、三方五湖の一つ、久々子湖エリア。

季節ごとに訪れる水鳥を間近で感じる遊覧船や

水辺との並走を楽しむサイクリング、

町民が熱狂にわくレガッタ大会など

久々子に息づく物語を紡いでいきます。

変わるものと変わらないものが交差するこの町で、

秘密にしたい景色を探しに行きませんか？



湖をめぐる、 水辺のサイクリング

レンタサイクルで、湖のすぐそばへ。
走るほどに、景色が変化していきます。



水面に沿って、
ゆるやかに走る

JR美浜駅で自転車を借り、
さあ出発。朝の久々子湖から吹く風はやわらかく、驚くほど静かだ。鏡のように風いだ水面が空を映し、ペダルを踏み出した瞬間、その景色がゆっくりと横へ流れはじめ。堤防沿いの道は起伏も穏やかで、電動アシスト付き自転車を選べば初心者でも軽々と走れるコース。速さを競うのではなく、景色と呼吸を合わせるように進んでいく。湖面とほぼ同じ高さの道が続くこのルートでは、キラキラと輝く水面が手を伸ばせば届きそうなど近い。水辺と並走するこの感覚は、久々子湖でしか味わえないものだ。



(左から) 走りやすい道が続く／湖畔をサイクリング／車で通れない道はスリル満点



久々子湖はローイングの聖地

湖畔を走る、 暮らしの風景の中へ

久々子湖は一周およそ8キロ。のんびり走れば1時間ほどの、ちょうどいい距離だ。地面に記された矢羽根の案内に沿って走ると、地図を気にせず景色に集中できる。

走っていると、ボートの練習に励む若者たちの掛け声が風に乘って飛び込んでくる。梅の木が生い茂る中を駆け抜け、湖畔では犬を連れた人や散歩中の家族とすれ違う。そのたびに、自転車でしか入り込めない場所に来ている、という高揚感がこみ上げてくる。観光地を巡るというより、このまちの暮らしの息づかいに触れながら走る感覚。一周し終えたところには、久々子湖がすっかり身近な場所になっていた。

寄り道が、 この旅を豊かにする

湖畔の道を少し外れれば、地元のお店が点在している。そしてサイクリストに嬉しい土産があることも、忘れずに覚えておきたい。

久々子の菓子店・中西製菓が手がける「ゴイチようかん」は、三方五湖を一周するサイクリングコース「ゴイイチ」を冠したご当地スイーツ。片手で食べられるコンパクトなサイズで、走りながら補給できる手軽さが頼もしい。甘さがじんわりと体に広がり、もうひと踏ん張りする力が湧いてくる。サイクリングはこんな出会いを楽しめるのも嬉しいポイント。自転車を返した夕方、ふと湖に目をやる。今日は水面のすぐそばを走ったから、明日は湖の上を、船で行ってみよう。

STORY SPOT

若狭美浜観光協会
(JR美浜駅内)
美浜町松原 35-7
☎0770-32-0222

中西製菓 (P.14でも紹介)
美浜町久々子 18-11
☎0770-32-0130



サイクリングのおともに「ゴイイチようかん」



WEB版では、アザーストーリー『ゴイイチで自然と
もっとながる湖畔ステイ』を公開しています。ぜひご覧ください。



湖上観察記。 久々子湖で鳥を探す

静かな船で湖の真ん中へ。
双眼鏡の先に何が見えるかは、乗ってみてのお楽しみ。

湖の真ん中から、
目をこらさず

遊覧船に乗り込むと、視点がふつと変わる。陸から眺めていた湖が、今度は足元いっぱい広がる。この船は再生可能エネルギーで動く、国内初の電池推進遊覧船。エンジン音も排気ガスもなく、驚くほど静かに湖の上を滑り出す。大きな窓の外には水面が手に届きそうなほど近く、岸辺の葦の揺れや、小さな波紋まで見えてくる。双眼鏡をのぞけば、枝先にとまる一羽の鳥、群れて漂う水鳥、遠くで羽ばたく影。湖は、いくつものいのちが息づく舞台なのだ、胸が高鳴る。

季節ごとに出会う、 生き物の躍動感

久々子湖には、四季折々にさまざまな野鳥が訪れる。冬になれば、なんと約1万羽もの渡り鳥たちが三方五湖に集まり、湖面は羽音と鳴き声

で満ちあふれる。春や秋には、移動の途中に立ち寄る鳥たちが現れ、短い滞在の中で一瞬の出会いを残していく。「野鳥の野外博物館」とも称されるこの湖では、マガモ、カワウ、オオバン、カイツブリなど多彩な顔ぶれが揃う。風に揺れる葦の向こうに小さな動きをとらえた瞬間、思わず息を詰めてしまう。静かに進む遊覧船だからこそ、水鳥たちも逃げることなく近くにいてくれる。鳥の名前を知らなくても大丈夫。探すことそのものが、この湖での最大の楽しみになるのだから。

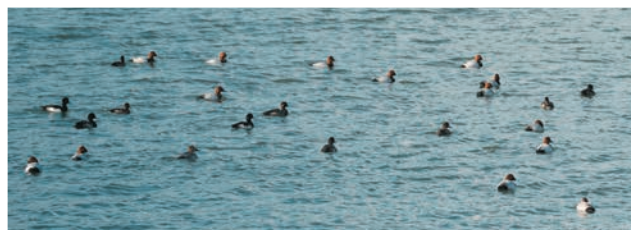
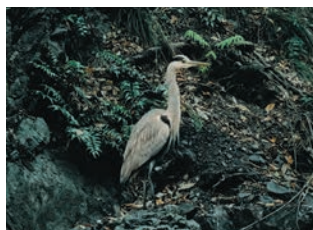
見つける喜びは、
静けさの中にある

遊覧船の魅力は、速さではなくゆったりとした「間」にある。久々子湖を出た船は浦見川へと入っていく。橋の高さすれすれに進む水路は、一転してジャングルのような濃密な景色が迫り、乗客たちは思わず息を呑む。江戸時代に延べ22万人の手で切り拓かれたというゴツゴツした岩肌を横目に、その先に水月湖が姿を現したとき、思わず歓声が漏れる。耳に届くのは羽音、水をかく音、遠くで鳴く鳥の声。久々子湖でのパードウォッチングは、特別な装備も知識も要らない。約50分のクルーズを終えるころには、湖は眺める場所ではなく、もっと何度でも訪れたい場所へと変わっているはずだ。

次ページの写真
久々子湖を巡る遊覧船の水面に浮かぶ水鳥の群れに出会うことができました。

STORY SPOT

三方五湖
ネイチャークルーズ
美浜町早瀬 24-4-1
☎0770-47-5960



徹底
解剖

レガッタ



水上でボートを漕ぎ、着順を競う競技「レガッタ」。「ローイング」の聖地として知られる久々子湖で、地元の伝統として長く親しまれてきたこの競技の魅力に迫ります。



Q 町民レガッタって何？

毎年10月の第3日曜日に福井県立久々子湖漕艇場で開催される住民参加型ローイング競技大会です。競技経験の有無に関わらず、町民であれば誰でも、そして交流部門では18歳以上の方であれば町外の方も参加可能で、国内で開催される住民参加型のレガッタ大会では最大規模を誇ります。漕ぎ手の年齢や性別によって10種目以上に分けられており、第38回となった2025年は、196のクルーが参加しました。

Q いつから行われているの？

1968年に福井で開催された国民体育大会をきっかけに、久々子湖畔に漕艇場が整備され、福井国体開催20周年である1988年に住民参加型ローイング競技大会としてスタートしました。以降、町の中でローイング競技が育まれ、オリンピック選手や国体選手を輩出してきた歴史もあります。



Q どんなボートを使うの？

「ローイング競技」と言っても数多くの種類がありますが、美浜町のレガッタは、4人漕ぎの「ナックル艇」というボートを使用。4人の漕ぎ手（パウ、2番、3番、ストローク）と1人の舵手（コックス）の計5名のクルーでボートを進めます。ナックル艇は安定性があり、沈まないのが初心者の方でも安心して漕ぐことができます。

足をストレッチャーに固定し、シートをレールの上で前後に滑らせながら漕ぎます。脚、上体、腕を連動させ、全身の力で艇を前へと進めます。



ストレッチャー



シート



レール



リガー/オールロック

Q レガッタの魅力とは？

クルーの呼吸が合っとうまく進んだときに感じられる一体感と爽快感です！クルー5人の息がぴったりと合い、艇がまっすぐに進んでいくと、誰もが感動を覚えます。この一体感がローイング競技の魅力。スピードが増すのと同時に流れ出す涼しげな水面の風は、全身を爽快感で満たしてくれます。



右から、コックス、ストローク、3番、2番、パウ。艇は左方向へ進みます。

Q クルーの役割は？

「ストローク」は全体の一定のリズムを刻むペースメーカー。「パウ」は漕ぎにくいポジションであるため、最も技術を要求されると同時に、全体が見える位置であるため、全員へのアドバイスを求められます。「2番」「3番」はいわば艇のエンジン役。体力が求められるポジションです。「コックス」は、ボートのペース配分や漕ぎ手のチームワークを統制する司令塔。進行方向を見ながら舵を取り、漕ぎ手に指示を出す役割を担います。







Recommended Spot

中西製菓



この町の
記憶を包む
やさしい和菓子

まんぷく!
通な店
美食美浜

創業明治37(1904年)の老舗和菓子店。おやつに手土産にと、美浜を味わえるうれしい品が揃い、地域に愛されているお店です。ヨモギの良い香りと、ほどよい甘さのあんが絶妙な「草餅」や、上品な黄身あんが特徴のロングセラー「湖月」など人気商品も多数。今回は、美浜町佐柿にある「国吉城」をモチーフに考案された「難攻不落味噌まんじゅう」を作っている様子を見せていただきました。



1563年から約10年にわたり朝倉軍の侵攻を退け、一度も落城しなかったことから「難攻不落の城」と称される。国吉城本丸跡からは日本海や三方五湖、美浜の町並みを見渡せる。

が摂れるものといえば味噌かなと。ちょうど大河ドラマで、握り飯に味噌をつけて食べるシーンを見て、これだと思いました。



話を聞いた人
中西正嗣さん

23歳で家業を継ぎ、伝統的な和菓子作りを基盤としながら、地域の歴史や特産品を活かした商品開発に力を注ぐ。音楽活動も行う多才な一面を持つ。

——中西製菓について教えてください。

1904年の創業で、もう100年以上になります。美浜町のおみや菓子や季節の和菓子を取り揃えており、地元の方はもちろん、県外の方もお越しいただいています。私は4代目で、東京の製菓専門学校で2年間学び、その後東京の和菓子店で3年間の修行を積んでから、23歳で家業を継ぎました。

——「難攻不落味噌まんじゅう」を作り始めたきっかけを教えてください。

国吉城が「続日本100名城」に選ばれたと聞いて、何か作りたいと思ったのがきっかけです。国吉城は籠城戦に強い城なので、当時の食べ物で栄養



——ズバリ、味のポイントは？

地元のお母さんたちが作った味噌です。そのお母さんたちもみんな年配になり、たくさん味噌が作れなくなっているのでもっと心配しています。また、隠し味に使っているのが昆布だし。味噌との相性もいいですし、味に深みが出ます。

——これから作りたいものは何ですか？

今は美浜のレモンを使った和菓子ができればいいなと思っています。洋菓子でレモンを使うのはあちこちにありますが、和風でできないかなと。中西製菓らしく、地元の素材をできるだけ使っていきたいですね。

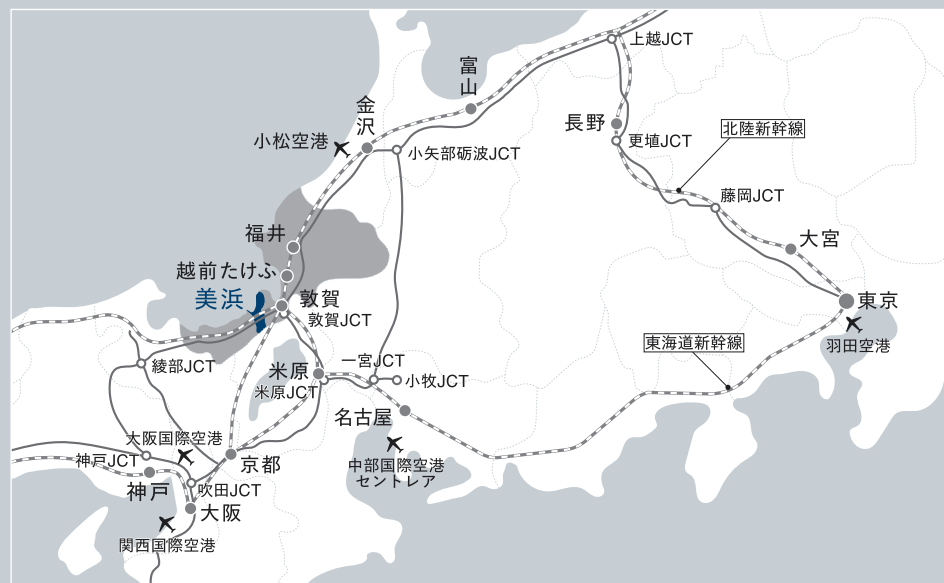
——中西さんにとってお菓子作りとは？

楽しい気持ちで作りたい、というのが一番です。みんなに楽しんでもらっている様子を思い浮かべながら作る方が、いいお菓子ができる気がしています。美浜町内の和菓子屋さんもだいたい減ってしまいましたが、これからも地元の味を守っていきたいと思っています。

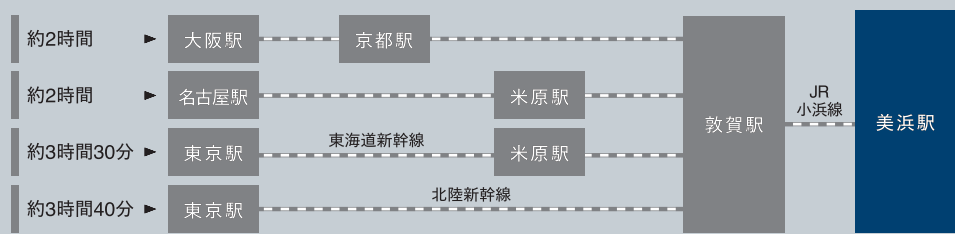


中西製菓 (P.5でも紹介)

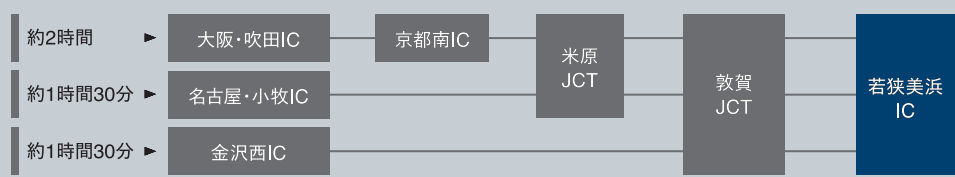
Info
住所 美浜町久々子 18-11
電話 0770-32-0130
営業時間 8:00~18:00
定休日 月曜日



電車でお越しの場合



車でお越しの場合





秘密にしたい、景色を探して。
久々子編

WAKASA MIHAMA
STORY BOOK
Issue.02 2026

2026年3月発行

発行・お問い合わせ先

美浜町観光誘客課
〒919-1141
福井県三方郡美浜町郷市11-8-7
TEL：0770-32-6705
FAX：0770-32-6740

企画・デザイン

寺田千夏

編集・執筆

石原藍 (vue.llc)

撮影

荻野勤 (TOMART:PhotoWorks)

WEB



IG



本書の無断複写・複製・転載を禁じます。
掲載情報は2026年1月時点のものです。
定休日・営業時間などは変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

WEB版では、美浜町の伝統行事や各エリアのストーリーを掲載しています。
ぜひこちらもお覧ください。

WEB <https://view-wakasamihama.jp/>
Instagram [view_wakasamihama](https://www.instagram.com/view_wakasamihama)



若狭 みはま